

ヘッドマウント型アクティブ 消音システム

用途・応用分野

- ・騒音問題に対して、ユーザの耳元で消音を行うヘッドマウント型のアクティブ消音システム
- ・工場、医療施設、工事現場、交通機関などにおける騒音対策

本技術の特徴・従来技術との比較

近年、ヘッドホンにノイズキャンセリング機能を持った製品が多くメーカーから発売されているが、それらの多くが耳を覆うもしくは耳栓型のヘッドホンを使うため、騒音を低減できるが、同時に必要な周囲の音響信号(音声や警告音など)まで消音してしまうという問題がある。それに対して我々が開発したシステムは耳元がオープンなため不要な騒音のみを低減し、必要な音声などは容易に聴取できるのが特徴である。

技術の概要

周期性の騒音に対して20dB以上の高い消音性能を有するとともに、肉声による対話がしやすくなる。我々が開発したシステムは耳元をヘッドホンなどで覆わないため、必要な音響情報は通常通りに聴くことができ、不要な騒音のみを消音できる。このようなシステムはこれまで存在しないため、多くのアプリケーションが考えられる。

- ・周期性騒音を20dB以上低減することが可能
- ・必要な音響情報(音声など)は低減せず、聴くことが可能
- ・高騒音下での対話を実現可能
- ・安価な音響デバイスによって実現可能
- ・浮動小数点DSPや専用のASICなどで実現可能
- ・無線による音声通信機能を付加することが可能



特許・論文

<論文>

M. Kumamoto, M. Kida, R. Hirayama,
Y. Kajikawa, T. Tani, Y. Kurumi, "Active Noise
Control System for Reducing MR Noise",
IEICE Trans. on Fundamentals, vol. E94-A,
no. 7, pp. 1479-1486, 2011/07/01.

研究者

梶川 嘉延
システム理工学部 電気電子情報工学科
音情報システム研究室